

(7) 第4次総合計画の推進

第7は、第4次総合計画の推進とまちづくりプロジェクト委員会の設置であります。昨年4月からスタートしました、南富良野町の向こう10年間のまちづくりの指針となります。第4次総合計画、まほらの南富良野、瑞々しい自然、誇れる大地、人のびのび、みなみふらのの推進につきまは、町民皆様と協働してまちづくりを進めていくために、まちづくりプロジェクト委員会を、まちづくりプロジェクト委員会を設置し、公募制の活用と機動性の確保を図りながら取り進めております。平成15年度は、住宅マスタープラン及び公営住宅ストック総合活用計画策定委員会を設置し、南富良野町にふさわしい住宅施策の全般にわたる基本方向と展開の方針についての計画を策定するため、委員会を設置し取り組んできました。

また、次世代育成支援対策を図るため地域行動計画を策定することとなっておりますが、このため保健、福祉を取り

有施設管理運営事業を根幹とし、行政施策による収益事業として農産加工事業、ログハウス村、保養センター並びにスキー場、ロッジなど、町からの委託事業を中心として総合的な公社運営を行い、町行政施策の推進に一翼を担うていきます。また、この公益的性格の強い事業の推進により、地域の活性化、産業の振興、雇用の確保が図られているところで、ログハウス村、保養センターなどの観光宿泊部門については、デフレ経済環境の中で、大変厳しい経営となっております。

巻く地域情報を踏まえて子育て中の保護者および関係職域から広く意見を求めるため、次世代育成支援地域行動計画策定協議会を設置し、策定作業を進めており、本年度行動計画をまとめてまいります。

更に、本年度も総合計画の施策推進のため、まちづくりプロジェクト委員会を設置し、協働のまちづくりを進めます。

(8) まちづくり研修事業の見直し

第8は、まちづくり研修事業の見直しであります。町の将来に向けて、個性豊かで活力あるまちづくりを進めるため、町民の研修活動を国の内外に展開してもらうことを目的として、平成元年度より実施してきた「まちづくり研修事業」は、事業実施後15年が経過いたしましたので、今日の時代的背景の中で行われた研修であります。新たなまちづくりの研修事業とするため、これまでの事業内容と研修基金および研修実績などを踏まえて、本年度中に見直しを進めてまいります。

(9) ごみの減量化

第9は、ごみの減量化の取り組みであります。本町の一般廃棄物処理は、分別や広域分担処理などにより、再利用・再資源化を図りながら、リサイクル社会の確立を目指し、安全で衛生的な環境保全に努めているところであります。

しかしながら、なかなかごみの減量化にはつながらない状況にあり、また、分別やリサイクルに伴い、ごみ処理に要する経費も年々増加しているのが現状であります。

このような中で、国のダイオキシンなどの削減基準が強



供用が開始される一般廃棄物最終処分場

るニジマス、ワカサギについては、稚魚、卵を外部から確保し、単年度養殖とし、放流、放流を主として行う検討をするとともに、本事業の管理、運営体制を含めて総合的な見直しのための協議を本年度中に進めてまいります。

(13) 中学校一校化

第13は、町内中学校一校化事業であります。町内中学校の一校化については、南富良野町立中学校統合推進協議会を設置し、平成17年4月開校を目指しその取り組みを行っているところで、本年度においては統合改組のための必要な施設、設備の整備を進めてまいります。

(14) 高等学校の国際交流派遣

第14は、高等学校国際交流派遣事業であります。本事業は、高等学校の教育振興として生徒の国際化と語学力の向上を図ることを目的として、米国への留学生派遣事業について取り組んでおりましたが、平成13年度に同時多発テロ事件が発生し地域情勢が不安定

化され、ごみ処理につきまは、従前の焼却処理施設では対応が不可能となったため、平成14年度から2カ年の継続事業で工事を進めておりました。一般廃棄物最終処分場が完成したこと、本年4月から埋立処理をこの施設で開始しますが、施設を少しでも長く利用するために、富良野生活圏一般廃棄物広域分担処理の取り組みの中で、粗大ごみにつきまは上富良野町に搬入し処理することとなります。

このことにより、粗大ごみの処理に新たな費用が発生することから、その費用の一部を町民皆様に負担していただくこととし、本年4月の粗大ごみ収集の際に試行を行い、6月から有料化を実施いたします。

(10) 公営住宅の整備

第10は、定住促進と公営住宅の建設であります。近年の少子高齢化が進む中で、福祉施策と連携した快適で安全なよりよい住まいと住環境の整備、更に定住の促進に向けて、町の住宅施策全般にわたる基

本的方向と展開の方針について、平成15年度に住宅マスタープラン及び公営住宅ストック総合活用計画を策定したところであります。本計画は、公営住宅の需要や老朽化、地区特性などを把握し、また、将来的な人口、世帯数および少子・高齢化状況などを踏まえ、公営住宅ストック総合活用計画において設置した基本方針、事業年次プログラム維持保全計画に沿って、公営住宅の供給管理、運営を図ることとなります。

したがって、本年度の公営住宅建設については、幾寅西A団地(西町)に3階建1棟16戸を建設し、定住促進を図ってまいります。

また、建替後の既設公営住宅幾寅団地については取り壊しを進める一方、取り壊し後の土地利用については、今後、議会なども協議をさせていただく中で、有効活用の検討をしてまいります。

(11) 振興公社の運営

第11は、振興公社の運営のあり方です。振興公社につきまは設立以来、町

のため、平成14年度は、ノータスの地域事情などにより事業の中止を余儀なくされておりましたが、その後、安定的な派遣システムの確保が可能となったため、本年度は派遣先をカナダにして国際交流事業を進めてまいります。

(15) 奨学資金制度の見直し

第15は、南富良野町奨学資金制度の見直しであります。

本町の奨学資金制度は、町内の優秀な生徒学生を対象として昭和38年度に設置し、運用を図ってまいりましたが、社会経済の変遷の中で、授業料などの上昇により貸付金の全面的な見直しを行ってまいります。

町政推進の施策の主な概要を申し上げますが、このほか平成16年度の主要事業の主なものを申し上げます。

瑞々しい自然のまち

緑の育成

はじめに、つつくしの南富良野、瑞々しい自然のまちづくりであります。

フォレストタウン記念植樹祭 北海道日本ハム球団現役プロ野球選手とのアオダモ記念植樹祭や野球教室の開催、滝川市ボランティアグループとの植樹祭関係継続事業として予算を計上いたしました。



フォレストタウン記念植樹祭

にぎわいの南富良野

誇れる産業のまち

農業の振興

次に、にぎわいの南富良野
 一誇れる産業のまちづくりで
 あります。農業関係の予算で
 は、既存ビニールハウスの有
 効活用を図るため、灌水、加温
 換気設備の導入に対しても事
 業として取り組み、農業所得
 の向上や生産組織の育成を目的
 とした新規作物導入事業、
 線虫対抗性緑肥作物を積極的
 に取り入れた土づくりで、良
 質で安全な作物の生産を進め
 る地力増強事業、耕起は種の
 作業遅れと作物の雪腐れを防
 止する農地融雪促進事業、耕
 作地放棄の発生を防止し、農
 業生産条件の整備を図り、傾
 斜地の農業を守る中山間地域
 等直接支払交付金事業、情報
 化が進む中、パソコン、ファク
 シミリを使用して経営の推進
 を図る農業情報センター運営
 協議会負担金について、それ
 ぞれ継続して予算を計上いた
 しました。

畜産関係では、富良野広域
 串内草地組合負担金、乳肉用
 牛放牧促進事業、畜産振興助
 成事業について、従前どおり
 予算を計上いたしました。
 道営事業では、農地の生産
 基盤整備を推進するため、中
 山間地域総合整備事業と農地
 保全整備事業について、本年
 度も継続して予定されていま
 す。

林業の振興
 林業関係では、町有林の整
 備で、優良広葉樹を育成する
 広葉樹林改良事業、皆伐施業
 を防止する列状複層林事業を
 継続するとともに、保育に必
 要な下刈り、除間伐、樹下植栽
 事業などの予算を計上いたし
 ました。

民有林の育成では、森林整
 備地域活動支援交付金事業、

除間伐や造林、作業路新設野
 ネズミ駆除など、民有林振興
 事業の予算を計上いたしまし
 た。

林道では、継続しています
 幾寅地区浅住線の開設工事が
 本年度で完了いたします。落
 合地区狩勝線は、平成16年度
 以降開設を計画している箇所
 についての測量設計の予算を
 計上し、林道網の整備を進め
 てまいります。

林業関係の道代行業業は、
 治山、植栽、下刈りなど、落合
 および幾寅地区町民いこいの
 森の森林整備と東鹿越地区
 の湖畔線林道開設工事が継続
 事業として予定されています。
 新規事業では、第4次総合
 計画「まほらの郷プロジェクト」
 「まほらの森事業」の中で計
 画されている「まほらの水」の
 調査、開発を進めるため、落合
 地区町民いこいの森などにお
 いて、伏流水の水質検査を実
 施し、水質状況の把握に努め、
 今後、利活用の方法を検討す
 るため、水質検査費を予算計
 上いたしました。

商工業の振興

商工業関係では、昨年度、新

しい形で制度化された商工業
 振興起業促進事業、商工会育
 成の商工振興事業、資金の円
 滑化に資する町融資および利
 子補給事業、経営安定特別資
 金貸付制度について、それぞ
 れ継続して予算を計上いたし
 ました。

鉱業振興については、鉱業
 振興会への支援とともに、輸
 送車両の大型化に配慮し、町
 道幾寅鹿越線の整備を進めて
 まいります。

町振興公社は、引き続き経
 営の改善強化と安定を図られ
 るよう指導するとともに、農
 産物処理加工センターのく
 まさ茶製造ラインが改善
 され、製品の安全性の確保と
 コスト軽減が図られ、オリジ
 ナル商品「もっちりポテト」
 「ぶるぶるキャロット」と併せ
 て販売の促進をしてまいりま
 す。

観光の振興

観光振興では、観光施設に
 ついて、キャンプ場は開設期

間を、オートキャンプ場は管
 理時間をそれぞれ短縮、ス
 キー場は第3リフト輸送の利
 用動向調査を実施して、平成
 16年度シーズンより運転の一
 時休止などを検討し、管理経
 費の削減に努めてまいります。
 また、かなやま湖周辺施設
 の効果的な運営について、ス
 ポーツ研修センター冬期間、
 および空知川スポーツリンク
 入夏期間の利用状況も含めて、
 本年度検討を進めてまいりま
 す。

平成9年度に掘削した温泉
 井戸の活用について、かなや
 ま湖保養センター浴場での利
 用を図るべく、昨年度湯湯試
 験を実施いたしました。地
 下泉脈については湧出能力が
 極めて低いところから、自噴
 している湯量をもって足し湯
 方式での利用可能性を検討し、
 今後、湯量回復までしばらく
 観測を続けてまいります。

また、富良野・美瑛広域観
 光の各種事業を積極的に展開
 するとともに、かなやま湖々
 水まつり、氷点下まつりを引
 き続き実施するために、所要
 の予算を計上いたしました。

あんしんの南富良野

健やかな福祉のまち

保健・医療の充実

次に、あんしんの南富良野
 一健やかな福祉のまちづく
 りであります。

保健事業については、平成
 15年度に策定しました住民の
 健康づくり計画「健やかみな
 みふらの」に基づいて、健康づ
 くり対策では、生活習慣病の
 予防にかかる栄養、食生活改
 善のための栄養指導、う歯む
 し歯予防対策は、幼児と親の
 「う歯予防教室」を開催し、歯
 の健康づくりを推進いたしま
 す。

疾病の予防や早期発見を目
 的とした南プミニドックや各
 種検診の充実を進めてまいり
 ますが、特に乳ガン検診はレ
 ントゲン撮影を導入し、早期
 ガンの発見治療につなげる取
 り組みなど住民の健康管理と
 疾病予防を図るため、各種検
 診業務の予算を計上いたしま
 した。

医療体制については、金山・
 落合・幾寅の各診療所および

幾寅歯科診療所の備品購入、
 落合診療所トイレ水酸化改修
 工事の施設整備の改善充実と
 医師招へい対策および医療対
 策協議会負担金など所要の予
 算を計上いたしました。

福祉の充実

町社会福祉協議会は、地域
 福祉活動の中心組織として、
 総合的に福祉サービス事業に
 取り組んでおりますが、昨年
 度、福祉専門職員が配置にな
 り事務局体制が強化されて福
 祉ニーズが多様化する中で、



落合診療所

地域の実情に合った事業を推
 進するための所要の予算を計
 上いたしました。
 国民健康保険事業、老人保
 健、介護保険、介護サービス事
 業の各特別会計は、被保険者
 や利用者の負担を軽減するた
 め、一般会計から繰り入れを
 継続してまいります。

いきいきの南富良野

学び楽しむ文化のまち

次に、いきいきの南富良野
 一学び楽しむ文化のまちづく
 りであります。

教育関係であります。従
 前同様、教育委員会の方針を
 尊重し、施設の維持管理、教材
 教具の充実など、教育環境の
 整備を図るべく所要の予算を

計上いたしました。

学校教育の推進

学校教育については、平成
 17年4月からの町内中学校一
 校化に伴うスクールバス購入
 と車庫設置工事、並びに校歌
 校章、校旗などの製作費、町

くるおいの南富良野

快適な生活環境のまち

道路網の整備

次に、くるおいの南富良野
 一快適な生活環境のまちづく
 りであります。

町道の整備については、幾
 寅鹿越線凍雪害防止事業に伴
 う改良及び舗装工事、幾寅市
 街地裏通り線と西1丁目線の
 歩道改良工事を継続して進め
 るとともに、幾寅鹿越線擁壁
 改良工事、幾寅市街地西3丁
 目線改良工事を実施し、生活
 道路の充実に努めてまいりま
 す。

道路の整備については、金
 山幾寅停車場線の伊勢橋架替
 工事は、取り付け道路の改良
 及び舗装工事、夕張新得線串
 内地区の改良及び舗装工事が

大学、語学教室、文化講演会、
 ヘルシーフェスタなどを継続
 し、金山地区コミュニティセ
 ンター前駐車場造成に伴う関
 係予算を計上いたしました。

継続で実施され、落合停車場
 線の第2架道橋改良に伴う実
 施設計が新規で予定されてい
 ます。

道営事業では、金山神社北
 傾斜地崩壊防止工事、落合神
 社横の二の沢川砂防ダム工事
 が継続で予定されています。
 国道の整備については、2
 37号線の下金山地区の舗装
 修繕工事、金山地区の法面改
 修工事が継続で予定されてい
 ます。

北海道横断自動車道につい
 ては、狩勝第1トンネルの掘
 削に向け準備工事が行われて
 おり、4月から本格的な掘削
 工事の開始が予定されていま
 す。
 河川の整備については、体

験学習や自然観察などを目的とした下山水辺の楽校は、平成14年度から樹木の植栽をしてきており、本年度、看板を設置し完了の運びとなりま

生活環境の整備

簡易水道事業については、落合地区更新事業を継続するほか、町道幾寅市街地西3丁目線改良工事に伴う支障水道移設工事、各地区メーター器取替事業などの予算を計上いたしました。

下水道事業は、処理区域内の水消化率が86%台で効果的な管理運営に努めているところですが、公共施設の維持管理などにあたり利用者に適切な負担をお願いしながら、後年度への財政負担を最小限とするためにも計画的な見直しが必要であり、本年度、使用料金を改定してまいります。

現在、取り進めております、幾寅岐阜町工区の使用開始に向け、本年度から3カ年計画で管渠新設工事を進めてまいります。

簡易水道事業および公共下水道事業への一般会計繰出金は、住民負担の軽減に配慮しながら、必要な予算を計上いたしました。

ごみ処理については、一般廃棄物最終処分場が完成し、4月から埋立処分を開始しますが、粗大ごみにつきましては、この施設で処分をするのではなく、上富良野町の焼却施設で処理することになりますので、住民皆様のご理解をいただき、ごみ減量化に努めてまいります。

富良野生活圏一般廃棄物広域分担処理の中で、本町が家畜を除く小動物の死体処理を分担することになり、一般廃棄物最終処分場の敷地内に、焼却処理を行う小動物焼却施設を整備し、本年4月から、上富良野町を除く富良野地域市町村がそれぞれ経費を負担して運営されます。

し尿および浄化槽汚泥、生ごみについては、富良野地区環境衛生組合で堆肥化を進めており、製品化された堆肥は本年度も有機肥料の農地還元と住民への無償配布を行い、地域循環型リサイクルシステム



ごみ収集

を推進してまいります。合併処理浄化槽設置整備事業は、本年度13戸分の予算を計上いたしました。

生活安全の確保

消防、救急については、高規格仕様の救急車配備と救急救命士3名の配置、高規格対応の資機材も整いましたので、高度救急救命体制の充実に努めてまいります。

予算は、落合地区の小型動力ポンプの更新、南富良野支署庁舎の外壁屋根塗装工事を計上するとともに、体験型観光アウトドアスポーツ水難救助に対応するための救助資機材と心肺蘇生の普及など、応急手当講習会用の備品購入に

ついて予算を計上いたしました。

また、消防団の体制としては、昭和49年に常備消防が確立されてから通信施設・設備および消防設備の整備充実、更に住宅事情の改善と地域居住人口の減少など、各地区の生活環境は大きく変化している状況から、消防団員定数の見直しを行い86名といたしました。今後の消防体制として、かなやま湖の上流域と下流域を基本とした常備消防と消防団の体制の再編について地域の理解を得る中で、段階的な取り組みをしてまいります。

防犯と交通安全については、防犯協会および交通安全協会、交通指導員協議会などと協力し、安心と安全が確保されるよう地域ぐるみの運動を展開してまいります。

町民の生活の足であります町営バスについて、現行の乗車券は普通乗車券と定期乗車券の2種類ですが、バス利用者の利便性を図るため、4月から新たに回数乗車券を設けて利用していただくことになりました。

また、町営バスの運行と利用状況を調査し、平成17年4月の中学校統合に伴うスクールバス運行と併せて、効率的な運行体制にできないか検討を進めてまいります。

情報化の推進

国が進める電子自治体として、本町でも総合行政ネットワーク(LGWAN)と住民基本台帳ネットワーク、公的個人認証サービスを整備してまいりましたので、文書交換の取り組みや住民基本台帳カードの交付など、管理運用に努めてまいります。

また、インターネットを更に活用するため、各課との接続機器を整備して情報事務の充実を図る所要の予算を計上いたしました。

昭和55年に、幾寅・内藤地区テレビ放送共同受信施設組合が、テレビ難視聴解消のため共同受信施設を設置しましたが、老朽化により施設を更新することに、組合から更新に対する支援の要請がありましたので所要の予算を計上いたしました。

のびのびの南富良野

共に創るまち

次に、のびのびの南富良野一共に創るまちづくりであり

第4次総合計画の推進は、住民と協働してまちづくりを進めていくためのまちづくりプロジェクト委員会設置の予算を計上いたしました。

本部町との親善交流事業を引き続き実施いたします。

金山青年研修所は、築41年が経過し老朽化も著しいことから、本年度は、地域利用者に対するPRを行い、平成17年



首里城(沖縄県)

度から施設利用を廃止し、今後は、金山地区コミュニティセンターを利用していただくことにしております。

予算の状況

次に、歳入予算については、前年度にも増して厳しい財政運営を強いられる中で、町税をはじめ使用料、手数料および財産収入など、いわゆる自主財源については、可能な限り有効な運用と確保に努めたところであり、町税については、農産物価格の低迷による農産所得の低下により4.7%の減額として計上いたしました。

国庫支出金および道支出金は、大型事業の完了によって総額では前年比を大きく下回っておりますが、それぞれ当初予算に必要とする事業費分を見込んだところであり、ます。

地方交付税については、普通交付税が平成14年度に引き続き制度改正と単位費用およ

び小規模町村に影響を及ぼす段階補正などの見直しなどによって、大幅な減額となりました。特別交付税も前年度比15.7%の減を見込んで予算を措置したところであり、ます。

地方譲与税は、自動車重量譲与税および地方道路譲与税は前年度並を見込み、国庫補助金・負担金の一般財源化による「三位一体改革」の暫定措置とされる所得譲与税については、新規予算として計上いたしました。

利子割交付金については、近年の預金高の減少と利率の低下によって大幅な減額計上であり、また地方消費税交付金は増額を見込み措置したところであり、ます。

町債は、有利な資金を確保して計上するとともに、後年度において償還額の全額が交付税に算入される臨時財政対策債を計上いたしました。

積立金を取り崩す繰入金は、当初予算に計上しなければならぬ投資的事業などに充当する財源として予算化いたしました。

以上、平成16年度の町政の基本的な考え方と予算編成の

総額 20万円

分収造林事業特別会計

公共下水道事業特別会計

1億9,043万1千円

簡易水道事業特別会計

1億6,219万6千円

介護サービス事業特別会計

2億5,200万4千円

介護保険特別会計

2億1,787万4千円

老人保健特別会計

4億2,621万円

国民健康保険事業特別会計

3億7,63万4千円

一般会計

38億5,524万円

骨子を申し上げました。

その結果、予算の規模は

議員各位をはじめ町民皆様のご指導、ご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

南富良野町第4次総合計画

まほらの南富良野

みずみず 瑞々しい自然、誇れる大地、人のびのび、みなみふらの